

情報連絡員報告総括表（令和5年2月分）

三重県中小企業団体中央会  
 連絡員総数 40名  
 回答数 40名（100%）

業界の景気動向（前年同月比）

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>（臨時・パートを含む）</small>			業界景況						
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化				
製 造 業	食料品	2	1	1	1	3		1	3		1	3		1	1	2		4			3	1	2	1	1	1	2	1				
	繊維工業	1	1	1		3		2	1			3			3			3		1	2			2	1	1	2					
	木材・木製品			1		1				1			1			1		1				1		1				1				
	紙・紙加工品		1	1	1		1	2			1		1			2		2				2		2				2				
	印刷		1			1		1				1				1		1			1			1			1					
	化学・ゴム																															
	窯業・土石製品	1	1	1		3		2	1		1	1	1		1	2		3			3			3			2	1				
	鉄鋼・金属			1			1		1			1				1		1				1		1				1				
	一般機器	1	1	1	1	2		3				3			1	2		2	1		2	1		2	1		1	2				
	電気機器			1		1			1			1				1			1			1		1				1				
	輸送機器	1					1		1			1				1		1		1				1		1						
その他																																
	小計	6	6	8	3	14	3	11	8	1	3	14	3	1	6	13		18	2	2	11	7	2	15	3	3	8	9				
非 製 造 業	卸売業		2			2		2				2			1	1		2		X					2			1	1			
	小売業	2	3	1		5	1	3	3			5	1		3	3		3	3						6			3	3			
	商店街		1				1	1					1			1			1						1				1			
	サービス業	1	4		X	X	X	1	4			5			5			4	1						4	1		4	1			
	建設業	1	2	1					4			4		1	2	1	1	2	1		1	2	1					4		1	1	2
	運輸業			1								1			1			1				1						1			1	
	その他		1									1			1			1				1						1			1	
	小計	4	13	3		7	2	7	13		1	16	3	1	13	6	1	13	6					19	1	1	11	8				
	合計	10	19	11	3	21	5	18	21	1	4	30	6	2	19	19	1	31	8	2	11	7	2	34	4	4	19	17				

## 最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和4年2月～令和5年2月)

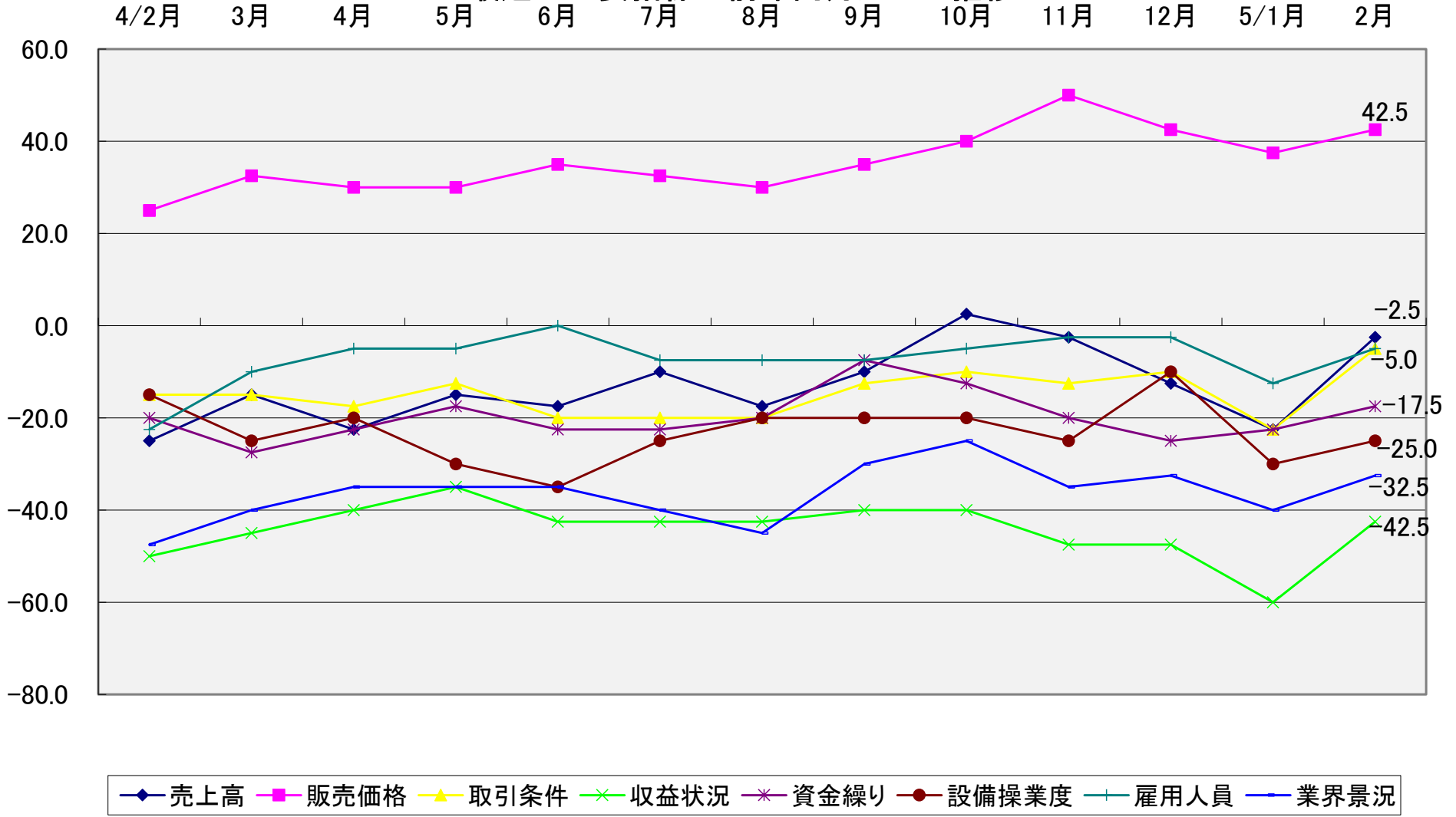
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	4/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5/1月	2月	増減
売上高	-25.0	-15.0	-22.5	-15.0	-17.5	-10.0	-17.5	-10.0	2.5	-2.5	-12.5	-22.5	-2.5	20.0
販売価格	25.0	32.5	30.0	30.0	35.0	32.5	30.0	35.0	40.0	50.0	42.5	37.5	42.5	5.0
取引条件	-15.0	-15.0	-17.5	-12.5	-20.0	-20.0	-20.0	-12.5	-10.0	-12.5	-10.0	-22.5	-5.0	17.5
収益状況	-50.0	-45.0	-40.0	-35.0	-42.5	-42.5	-42.5	-40.0	-40.0	-47.5	-47.5	-60.0	-42.5	17.5
資金繰り	-20.0	-27.5	-22.5	-17.5	-22.5	-22.5	-20.0	-7.5	-12.5	-20.0	-25.0	-22.5	-17.5	5.0
設備操業度	-15.0	-25.0	-20.0	-30.0	-35.0	-25.0	-20.0	-20.0	-20.0	-25.0	-10.0	-30.0	-25.0	5.0
雇用人員	-22.5	-10.0	-5.0	-5.0	0.0	-7.5	-7.5	-7.5	-5.0	-2.5	-2.5	-12.5	-5.0	7.5
業界景況	-47.5	-40.0	-35.0	-35.0	-35.0	-40.0	-45.0	-30.0	-25.0	-35.0	-32.5	-40.0	-32.5	7.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする  
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



報告者名  
報告年月

三重県中小企業団体中央会  
令和5年2月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いている。今年は8月に雨が多く葉菜類を中心に初期生育が遅れていたが、その後の天候により順調に生育しており、例年並みの収穫が得られ、ほぼ例年並みの漬け込みが行われている。年明け以降もほぼ例年並みの生産で推移している。また、販売状況においても、コロナウイルス規制の緩和により、旅行者の増加などにより、お土産物の需要がかなり回復してきており、ほぼコロナ前の状況に戻りつつある。 一方で、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、製造コストに影響が出ている。 2023漬物グランプリが4月27日～29日まで東京ビッグサイトで開催される。県内からも数社が応募を予定している。
		醤油味噌	欧米各国のインフレ、コロナ感染、露ウクライナ問題等で食品向け穀物の高騰は下がる要素がない。日本の食糧輸入量としてこれまで少なかったインド、東南アジア、南米等は人口が増え経済成長が続くことで現地で高く売れ消費される食糧は日本が入手するには益々不利な環境である。 南米産大豆の不作から中国の買付が米国に向かう事になれば更に高騰する。日本では遺伝子組み換え食品表示が見直される中、国内生産量を上げる対策が後回しになっている。2月15日からの3日間千葉の幕張で行われたスーパーマーケットトレードショーに組合として出展し三重県の醤油を国内外のバイヤー等にPRした。国の食品輸出補助事業を活用した出展で来年度以降も、補助金を活用したこのような取り組みを続けて、輸出にチャレンジしていく組合員を組合としてサポートしたい。
		製麺	1月25日、26日とインテックス大阪にてラーメン産業展として出展し、約2万人の来場者があった。今回は常温タイプのラーメンを7種類用意して試食してもらい、アンケート調査を行った。また、2月15～17日の3日間、スーパーマーケットトレードショーに出展し、約7万人の来場者があった。さくらさしめん、よもぎ細うどん、伊勢茶細うどん、冷やし伊勢うどんの4種類を展示して、2種類について試食アンケートを行った。
	木材・木製品	木材	ウッドショック、ウクライナショック、円安の影響は薄れ、年明け以降、前月比、前年同月比とも弱含み傾向である。
		木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題である。
	紙・紙加工品	古紙	2月の仕入量：段ボール・約94±5%、新聞、チラシ・約88±8%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約91±8%である。春闘の回答等で非正規雇用者やパート職員の給与増額とのニュースが聞かれ、4月以降にV字回復の兆しとなるか動向をみていく。現状は原紙や一般商品等の値上げと低所得が原因かで荷動きは非常に悪くなっている。以前にもまして危機感は募るが、10年以上前から分かっている事柄なので仕方がない。コロナ感染症の流行は想定外だが自分も仲間も企業も生き残れているのでありがたい。新年度からのインバウンドと昇給後の景気に期待したい。しかしながら、政府からの4～5%物価上昇分の給与増額は中小零細企業の私達に大きく、実質的に金銭と精神的負担だと思う。特にユーラシア大陸の戦争や紛争は他国や他人事ではなく身近な近未来と成らない様に願い古紙持去り行為撲滅の法制化とも合わせて具現化を強く希望したい。今後は更に人手不足となりそうであるIT・DX化で貴重な労働資源を更に大切に活用したい。
	印刷	印刷	年度末の繁忙期のタイミングも関係なく印刷用紙がさらに値上げになった。さすがに年度末はさけて4月に値上げかと楽観していたが、突然の値上げによりすでに落札した物件の多くに影響が出ている。
	窯業・土石製品	伊賀焼	組合員の業況は、少しずつ良い動向になってきているが、原材料費、光熱費の値上げを価格になかなか反映できない事に頭を悩ませている。インボイス制度についても動向を悩んでいる方が多い。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産額は1月と比べ全体的に減少傾向にある。自動車関連部品は減少傾向が続いている。建築関連部品及びガス関連部品は横ばいの状態であった。また、半導体関連は2月に入り減少傾向になり半導体不足は続いていっているが、暫くは減産傾向は続くものと思われる。原材料の高騰、エネルギー価格の高騰（ガス、重油、電力料）が続くそれによる収益の圧迫で経営面では厳しい状況が続いている。
一般機器	四日市	各企業により濃淡があるが総じて需要、業績は停滞気味である。半導体不足や紛争の長期化による仕入れ価格、電気代、燃料費の上昇や自動車関連が未だ低調なこと、コロナによる需要の停滞が理由である。	
	津市	売上は増加であるが、材料高騰によるものであるため、実質マイナスが続いている。電気代上昇のための価格値上げはなかなかできず、収支は圧迫している。2月から3月にかけては、各社、在庫調整や生産調整のため、受注は減少傾向、一部生産は戻ってきていると言われているが、そのような感じがみられず、戻ってくるのは、まだまだ先かと思われる。	
	伊勢	先月に引き続き受注は低調で、先行きの見通しは不透明な状況である。相変わらずモノ不足や設備投資も少なく、特に自動車関連業種は厳しい環境にあり、回復するにはしばらく時間がかかりそうである。	

報告者名  
報告年月

三重県中小企業団体中央会  
令和5年2月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
	電気機器	鳥羽 期末の後半に入りながら、動きが活発にならず苦戦している。ただ、組合員の中には、設備投資を進行させている企業もある。
	輸送機器	鈴鹿 燃料や消耗品等の仕入れ価格高騰が続いている。操業費にも多大な影響があるが、現時点では納品する量産製品に関しては価格に反映してもらえる見込みはない。人手不足で残業が増えているが、今後は中小企業でも時間外労働の割増額が増えることになり採算は悪化の一途である。このような状況で賃上げ等について、どうすればできるのだろうか。
非 製 造 業	青果	野菜前半：多くの品目で入荷量、価格とも前年並みに落ち着いてきた きゅうり、ミニトマト、キャベツは順調に入荷している。今が旬の春キャベツも入荷が増えサラダに最適である。一方、悪天候でほうれん草、小松菜の入荷が減り値上がりしている。 野菜後半：鹿児島県産の新じゃがいもの入荷が始まった。高値だったほうれん草、ブロッコリー、きゅうり、レタス等は値下がりしてきた。特に春キャベツは今がお買い得である。 果物前半：県内産を中心にイチゴが好調で手頃な価格で味も最高に美味しい。りんごは青森県産の「サンフジ」が中心で荷動きも良く味も良い。 果物後半：ひな祭り向けイチゴの需要が高まり値上げしているが、味は今が美味しい。中晩柑のいよかん、はっさくに加えて、デコボンの入荷が増えてきた。今は種類が豊富でいろいろな味が楽しめる。
	自転車	2月に入り、多くのショップが通学用自転車の注文を受け付けた。ベルト車の商品は台数で昨年比マイナス3割程度、チェーン車も売上が伸びずメーカー商品の値上げも重なり、残りの大多数は大型、チェーン店へ流れたようで、非常に厳しい現実となっている。他県にて電動アシスト車に法律の基準を超えるアシスト力をつけた製品をネット上で販売していた会社が、不正防止法違反の疑いで書類送検された。こうした製品の摘発は初めてで、急加速する製品が公道を走ると違反になるため、販売、注意を組合員に呼びかけている。
	小売業	電器 最近では旅行やショッピングで出かける人も多くなっているように思う。それに関連して、家庭内での事にも関心を持つようになり価格が高騰しているわけであるが、購買意欲は上昇しているように思う。買い替えの需要はほぼコロナ前まで戻りつつあると思われる。商品など成約頂く時に以前のように先ずは価格が安いところからという事より、しっかりした商品、または目的に合った商品を選んで頂いている傾向にあるように感じた。
	石油	不当廉売嫌疑案件に対する積極的な申告書の提出について 三重県内のガソリンの販売価格について、一部の地域では仕入れ価格を割ると考えられる価格にて販売されている。公正取引委員会では、ガソリン価格における公正競争を確保することを目的に「ガソリン不当廉売ガイドライン」を改定し11月11日付けで公表した。今後はガイドラインに基づく不当廉売審査の実効性が焦点となるが、実効性の向上を確認するためにも、不当廉売の恐れのある行為に対しては、より積極的に申告を行って行く。 なお、公正取引委員会では、2021年11月16日に「給油所のコスト構造に関する実態調査 調査結果」を公表している。その中で販売価格に対する販管費率は6.34% (月販500klの場合)であったとしており、不当廉売申告を行う際の一つの目安となると考えられる。
	スポーツ	三重県では、昭和60年頃から、組合員の店舗ではスキー用品を扱う店がなくなった。それ以前は1月、2月はスキー用品販売で忙しい時期であったが、今では全く扱う店がなくなり、春物用品には少し早いし、一年中で一番暇な月である。中学生の新入生のウェアを扱っているお店は、それなりに商品は動いているようである。3月になると高校の新入生ウェアの販売で忙しくなる。
商店街	熊野市 商店街内で開催された月一の朝市イベント、今回は開花が始まっている「クマノザクラ」をテーマに、小学生の桜の絵画展示や桜の燻製で燻ったシヤモ、またクッキーやドラ焼き等の桜の葉を使用した新商品などを取り揃えて開催された。ただこの月は、例年同様集客は厳しい時期となるため、出店舗の売上は思ったほど伸びなかった。物価高騰など要因はいろいろあるとは思いますが、景気の陰りを感じる。	
サービス業	旅館 2月前半は1月の中旬以降からの閑散とした状況が続いていたが、三重県独自の旅行支援制度の創設を要望して知事陳情を行った結果、2月20日～3月24日まで「おいでよ！みえ旅キャンペーン」として支援制度がスタートしたため、予約が急回復した。2月はもともと閑散期であるが、この制度の効果により3月にかけて予約が大きく伸びた。前年比120%、2019年2月比80～90%程度であった。	
	警備	相変わらず、隊員不足である。

報告者名  
報告年月

三重県中小企業団体中央会  
令和5年2月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
建設業	総合工事業	【公共工事の受注状況】 令和4年度補正予算による公共工事のうち国土交通省による発注は進んできたが、昨年度より少なく受注環境は厳しい状況である。 令和5年度の三重県の公共事業予算案が公表された。全体の事業規模は昨年度並みであるが、人件費、資機材等の高騰を考慮すると実質減であり、来年度も厳しい状況が続く見込みである。
	内装工事業	2月は大幅に前年同月比でプラスとなった。年度末のため、売上をたてる影響かもしれない。ただし、3月はコロナや材料費の高騰、物価高からマイナスになる場合もあり、予測が難しい。
	水道工事業（亀山）	組合員各社の公共事業については、順調に進んでいる。材料の納期を押さえて工期は予定通りに完了している。ただ、まだまだ資材等の納期が不透明であるため、来期の予算、見積価格については不安なところがある。
運輸業	トラック	軽油価格は先月と比べて若干であるが値下がりしたものの依然高どまりの状況が続いている。電子デバイス部門については、キオクシアが需要減による生産調整をしており、関連する輸送も減少傾向が続いている。自動車関連については、トヨタ自動車が増産体制に入ったものの、ホンダ技研については、半導体不足から生産台数が減少したため、輸送についても一部影響が出た。スーパー、小売については日用品や加工食品等の相次ぐ値上げラッシュにより、先月に比べ減少傾向となったため、関連する輸送も減少に転じた。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	県産小麦の商品開発が活発に進められ、少しは業界発展に繋がってくる事を期待している。今年の夏は、冷やし伊勢うどんを販売できる事を楽しみにしている。
一般機器	四日市	コロナ対策の緩和やインバウンド需要で経済が上向きざしとなることが期待されるが、工業製品の需要につながるかは不明。物価や光熱費がさらに値上がりするとの情報もある。今後の状況を注視しながら、きめ細やかな支援をお願いしたい。
サービス業	旅館	宿泊業における最大の固定費である「水道光熱費」がエネルギーコストの高騰と食材費の値上がり粗利益を大きく圧迫しているため、「光熱費対策支援金」等による支援をお願いしたい。